



図2. 出現した水生植物の分布. A. ウキクサ, B. アオウキクサ, C. ミジンコウキクサ, D. コナギ, E. ホテイアオイ, F. トチカガミ, G. ヒシ, H. (●) リュウノヒゲモ, (○) エビモ, I. フトイ, J. ウキヤガラ, K. アシカキ, L. キシュウスズメノヒエ.

ける溜池の水生植物. 植物地理分類研究 32: 岡島錦也, 1987. 東海市の植物目録. 東海市. 127-135.

○『武豊町の植生』(愛知県武豊町, 昭和59年10月, 204頁)

○『美浜町の植生』(愛知県美浜町, 昭和62年12月, 144+104頁)

愛知県知多半島に位置する武豊町と美浜町の植生ならびに植物相を、本会会員和田基己氏が中心になって調査された報告書である。植生は、環境や地区別に概説されており、水草や湿原植物についても具体的に記載されていて参考になる。植物相については、リストとは別に植物地理学的な考察がなされている。東海要素(周伊勢湾要素)の産地として興味深い地域であるが、その問題

は今後のより広範な地域の調査を待って再論されるべきであろう。本文とは別に多数のカラー写真が載せられている。

地方の小さな一自治体から、体裁・内容ともに大変立派な本が出版されたことに、失礼な言い方だが、はじめは驚いた。調査担当者と行政当局の見識と先見性に敬意を表するとともに、浮わついた村おこしではなく、このような事業に投資することの大切さを、あらためて訴えたい。

(角野康郎)